

組合ビジョン・中期計画策定 十三公設協同組合

十三公設協同組合は、組合スーパーにおける老朽化、空き店舗対策、組合員・客数の減少への対策が課題となっておりました。

こうした状況を踏まえ、組合では大阪府の平成29年度組合等事業向上支援事業における「組合ビジョン・中期計画作成支援」に取り組み、組合員、組合事務局、専門家、中央会指導員を交えた検討会を開催しました。

検討会では、組合の諸課題を、ヒアリング調査により総合的に分析し、組合活動の更なる活性化を図るために熱心な議論が行われ「組合のビジョン」が完成しました。

課題

課題	ソリューション
建物の老朽化にともなう維持管理（照明、空調、レジ、ケース等）のための資金不足	融資、補助金等、工事資金の確保
空きテナントの発生による賃貸収入減	当スーパーの地の利点（商店街の中、駅に近い、雨に濡れない）を生かした新サービスの提供
組合員の減少	スーパーの新たな価値（基盤、サービス）の創造による魅力の向上
客数の減少 オープン時：4,300人/日 現 状：3,800人/日	少子高齢化の進行や共働きの増加に伴うニーズに応えた新サービスの提供

調査分析

当組合事業及び組合が運営しているスーパー「ピュア13」の抱えている課題やソリューション、価値提案、顧客との関連性、コストなどを抽出するため、リーンキャンバス（ビジネスモデルを一枚の図にした分析ツール）によりヒアリング調査を行い、組合員の意見を取り入れながら全体像をとりまとめビジョンを構築。

組合ビジョン

【組合が今後目指すべき方向性】

地域密着型スーパーの価値創造を目指す
～基盤整備と顧客サービス向上～

【ビジョンの実現方法】

1. 空室の coworking スペース（独立して働く個人が、机・椅子・ネットワーク設備などの実務環境を共有しながら仕事を行う場所）利用の可能性調査

空きテナントをゼロにして安定した収入を確保することが組合の資金を潤沢にする当面の課題であり、その対策の一つとして coworking スペースの利用があげられた。そこで実際に coworking スペース運営において考えられる課題を抽出したところ、①有能なコーディネーターの確保、②コンセプト、③料金設定、④ coworking スペース内の設備や機能性、など多くの課題が考えられる。コーディネーター人材の発掘と併せて事業としての採算性を翌年度に可能性調査として行い、可能と判断されれば内装工事等を行う計画である。

2. 地域商業自立促進事業の採択に向けての取組み

組合で対応できると考えられる6分野（①少子高齢化、②地域交流、③新陳代謝、④構造改善、⑤外国人対応、⑥地域資源活用）においてさらに細分化した24事業テーマ案について組合員の意見も取り入れて検討し、真に組合の価値を上げていく事業テーマを選択する。その上で調査分析事業から入り支援事業への申請に進める。

3. ネット注文に対応した宅配サービスの実施

今後、高齢化の進行や共働きの増加からネット注文が増えていくと想定される中で、十三公設協同組合独自のネット注文の仕組みづくりと将来的に宅配サービスが利益を生み出せるような構造改善に着手する。

【スケジュール】

年度 ビジョン	平成30年度	平成31年度	平成32年度
coworking スペースの 可能性調査	空室の coworking スペース利用の検討		
	・コーディネーター人材発掘 ・事業としての採算性検討	可決ならば内装工事と募集開始	
地域商業自立 促進事業の 採択に向けて	事業テーマの検討		
	・各テーマの比較検討 ・経産局から情報収集	地域商業自立促進 調査分析事業	地域商業自立促進 支援事業
ネット注文対応 と宅配サービス の実施	ネット注文対応と 宅配サービスの検討		
	・ネット注文の仕組み ・サービスコストの算出	実験的運用開始	